

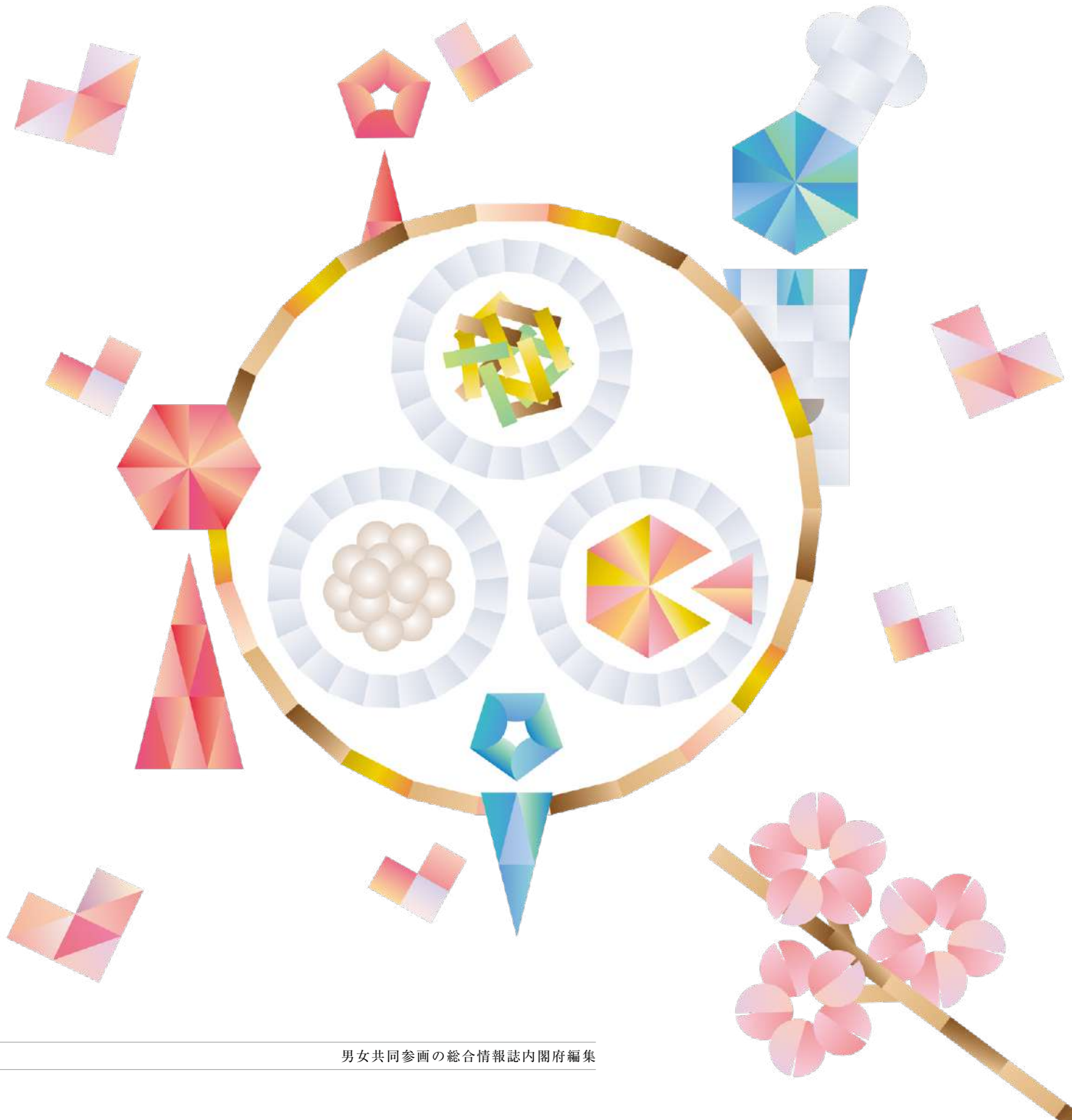
共同参画

Special Feature

特集／「“おとう飯”始めよう」キャンペーン実施自治体からの
報告 Vol.3

Special Interview

スペシャル・インタビュー／中村 朱美
(minitts 代表取締役 「佰食屋」オーナー)



主な予定

Schedule

平成31年3月11日～22日	第63回国連女性の地位委員会 (CSW)
平成31年3月23日、24日	第5回国際女性会議 (WAW!)、Women-20 (W20)
平成31年4月1日～30日	AV出演強要・「JKビジネス」等被害防止月間
平成31年6月8日	女子中高生向けシンポジウム「理系で広がる私の未来2019 (仮題)」 (東京都千代田区)
平成31年6月23日～29日	男女共同参画週間(主唱：男女共同参画推進本部)

巻頭言

共同参画に寄せて

Foreword

UN Women
(国連女性機関)
日本事務所 所長
石川 雅恵



Ishikawa Kae

毎年3月8日は、国際女性デーです。

毎年UN Women (国連女性機関) はグローバルなネットワークを活用して世界各地で国際女性デー記念イベントを開催します。国連が定める2019年の国際女性デーのテーマは「Think Equal, Build Smart, Innovate for Change (平等に考え、聡明に構築し、変化のための革新を)」です。このテーマは、とりわけジェンダー平等と女性のエンパワーメントに必要な社会保障制度や公共サービスへのアクセス、安定したインフラといった分野に革新的な方法で取り組む必要性を訴えています。NYの国連本部ではプムズイレ・ムランボ＝ヌカカUN Women 事務局長をはじめとした国連関係者、革新的なリーダーやジェンダー専門家が参集する公式イベントが開催されます。

UN Women日本事務所でも、この日を記念してジェンダー平等実現のための金融業界の役割を提唱する「Ring the Bell for Gender Equality (ジェンダー平等のための打鐘セレモニー)」を東京証券取引所で行うほか、性別役割分担を見直すシンポジウムなどに参加します。

日本事務所は、UN Womenの7つのリエゾン・オフィスの一つとして日本の様々な関係者の方々とパートナーシップを築き連携を強化するとともに、UN Womenの役割・活動について広報し、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを実現するUN Womenの持つ使命について啓発活動を行っていく役割を担っています。

毎年3月8日には、ぜひ私たちと一緒に未来に向けて考え、行動していきましょう。

目次

Contents

特集

「“おとう飯”始めよう」キャンペーン実施自治体からの報告 vol. 3

Page 02

スペシャルインタビュー

従業員のみんなが、きっと家で家族と一緒に晩御飯を食べているやろうなと想像するだけで、幸せな気持ちになる。

Page 06

行政施策トピックス1

スポーツ分野における男女共同参画の推進

Page 08

行政施策トピックス2

2018年度国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業について

Page 10

連載

その1 ジェンダー主流化の20年(11) ～グローバルな枠組みの基本原則に～
大崎 麻子((特活)Gender Action Platform 理事、関西学院大学客員教授)

Page 12

連載

その2 地域における女性の活躍推進⑩ 「女性の力で地域の課題を解決する」

Page 13

取組事例ファイル(団体編)

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者の取組
大村 秀章(愛知県知事)
喜多村 円(TOTO株式会社代表取締役社長執行役員)
中村 太郎(グリーンライフ産業株式会社代表取締役)
山下 良則(株式会社リコー代表取締役社長執行役員・CEO)

Page 14

ニュース&インフォメーション

女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』開催 他

Page 16

男女共同参画センターだより

北海道立女性プラザ



特集

「“おとう飯”始めよう」キャンペーン 実施自治体からの報告 Vol.3

内閣府男女共同参画局総務課

イクメイヤー・ケアメイヤー 宣言(東京都東村山市)

東村山市では、平成29年4月に「イクボス・ケアボス宣言」を市民の皆さんにも対象を拡大した「イクメイヤー・ケアメイヤー宣言」を行いました。

東村山市長として、改めて、育児や介護を担う方々を自ら率先して応援し支援する“イクメイヤー・ケアメイヤー”となることを宣言し、育児や介護を抱えるすべての方にとって、より暮らしやすく、より働きやすいまちとなるよう、子育てや介護を支援する施策の充実に全力を挙げて取り組んでおります。



おとう飯サポーターへの参加

「おとう飯の心得」を胸に、いっばいの愛情を加え、黒焼きそばソースを使った、簡単に美味しくつくれる「東村山名物 黒焼きそば」でサポーターに名乗りを上げました。

男女共同参画推進フォーラム 「おとうさんの家事力アップ 応援します」

男女共同参画週間にあわせ平成30年6月に開催した男女共同参画推進

フォーラムでは、「おとう飯大使」の石橋尊久^{たかひさ}さんをお迎えし、お父さんの家事力アップを応援するために、誰でも簡単にできる電子レンジを使った料理を紹介していただきました。当日は、ご自身も家庭でよくつくられるという「豚と白菜のミルフィーユ」「パエリア」に楽しいトークを添えて披露してもらいました。手のかかりそうなパエリアも10分ほどで完成し、石橋さんが会場を回り出来上がった料理を間近でご覧いただきました。会場にいた子ども達も駆け寄り「美味しそう」と目を輝かせ、お父さんに「帰ったら作ってね」とおねだりしていました。終始、暖かい雰囲気にあふれたフォーラムとなりました。



「東村山あったかネットワーク」を目指して

平成30年11月には男女共同参画の活動拠点である“交流室フェスタ”を開催し、「あなたの家族への不満度アンケート」を行いました。アンケートの結果をみると、普段から家族に対して不満を感じているのは男性よりも女性が多く、その中でも一番の不満は「家事分担」でした。しかし、男性にとっての「家事分担」は最も低い

順位であり、「家事分担」と答えた女性は男性の4倍以上という結果となりました。

女性の社会進出が進み、男女の固定的性別役割分担の意識にも変化がみられ、男女共にワーク・ライフ・バランスが実現できる社会になりつつあります。家事は「気づいた方がやればいい」「得意な方がやればいい」といった感覚では家庭と仕事の両立は成り立ちません。「“おとう飯”始めよう」キャンペーンの取組みをきっかけに、当市の男女共同参画推進情報誌「ふい〜りんぐ」では、毎号お父さんに作ってほしいレシピを紹介しています。

今後も引き続き、当市の第3次男女共同参画基本計画のテーマである～一人ひとりが生き生きと輝ける社会～「東村山あったかネットワーク」の実現を目指し、男性向けの料理教室などを通して男性の家事参画を応援していきます。



内閣府が平成29年6月からスタートさせた、子育て世代の男性の家事・育児の中で、料理への参画促進を目的とした「“おとう飯”始めよう」キャンペーンの取組について、ご賛同いただいている各自自治体の取組を一部ご紹介します。

なお、平成31年2月末現在、30人のおとう飯サポーターに御参加いただいています

『育てて育つ』伊豆市で子育て (静岡県伊豆市)

伊豆市では、『育てて育つ』をキャッチフレーズとして、子育ての素晴らしさを呼び掛けるとともに、伊豆市で子育てをする魅力を伝えています。このキャッチフレーズは、あえて一人ひとりのイメージに任せ、子育てをして良かったことを心に浮かべていただけたらと思っています。また、親だけでなく、皆で子どもたちを見守る安心感や、地域もまちも一緒に育っていかうというメッセージも込めています。

◆父も育つ！「父親教室」

伊豆市では、父親の家事・育児への積極的な関わりを促すことを目的として、平成29年度から父親教室を開催しています。

初めは料理をメインに始めた父親教室ですが、「料理はちょっと…」と敬遠する方が多いと感じました。そこで、エプロンや木の皿を作るプログラムなども織り交ぜ、また、子どもや母親も参加可能としています。家族で楽しみながら行う簡単な調理体験を通して、家庭で実践するきっかけになればと考えています。参加していただくと、普段、料理を全くしないという父親から「簡単にできてびっくりした」「料理は子どもとの良いコミュニケーションになると思った」という感想が。また、一緒に参加した母親からは「教室では夫が自ら皿洗いをしていて驚いた」「参加後は家事や育児を意識してくれている」という声が聞かれました。父親教室は、男

性の家事・育児への意識改革に良い効果をもたらしています。



▲子どもと一緒に。賑やかな父親教室

◆市長が男の料理を呼びかけ おとう飯サポーターに参加

市の父親教室の取組を知っていただき、男性の家事・育児参画を呼び掛けるため、平成30年12月に菊地市長がおとう飯サポーターに参加。社会人と大学生の二人の息子の父親である市長は、「長男が一人暮らしを始める時に野菜炒めの作り方を教えた」と自らの子育てを振り返りながら調理に取り組みました。この時に作ったのは、市民からレシピを募集する「伊豆ベジ自慢コンテスト」の入賞作品であり、市内の中学校の調理実習などでも作られている「伊豆いっぱいハンバーグ」。ブランドとなっている鹿肉「イズシカ」や特産品の椎茸や弘法芋など、具だくさんで栄養たっぷりのハンバーグがふっくらと焼きあがりました。日本一のワサビがアクセントとなっています。

伊豆市には素材の良さをそのまま活かせる特産品や地域で採れた新鮮な野菜や肉、海産物もあります！凝った調理をしなくても、お父さんたちの愛情を注げば大丈夫！



◆今後の展開

父親教室の参加者から毎回アンケートを取っている中で、家事・育児にあまり関わっていない父親からは「何をしたらいいのかわからない」という声が多いように感じました。

今後は、夫婦で手伝ってほしいこと・できることを共有できるようなプログラムを予定しています。

互いに思いやり、助け合う温かな家庭で、子どもたちがのびのびと育っていけるよう、伊豆市では今後も子育て支援に力を入れていきます。



▲育てて育つ Short Movie
～6つの家族が育てたもの～

伊豆市の子育てPR動画第1話では、子育てにひたむきな新米パパたちへ父親教室を紹介。伊豆市ホームページからぜひご覧ください。

武蔵村山市の家事ダン、集まれ!! (東京都武蔵村山市)

おとう飯サポーターへの参加

武蔵村山市では、昨年2月に市長が職員のワーク・ライフ・バランスを推進する「イクボス・ケアボス」宣言をしたところですが、この度、市全体で男性の家事・育児を推進し、自らも積極的に取り組んでいく「おとう飯サポーター」に参加いたしました。平成30年度に実施した市民意識調査では、「あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事を主に男性もしくは女性のどちらが行っていますか。」という問いに対して、「主に女性が行っている」という回答が71.3%を占めている一方、「男女ともに行っている」は21.3%、「主に男性が行っている」は3.2%にとどまっています。市長の「おとう飯サポーター」への参加が、男性の家事・育児への参画に市民が興味を持つきっかけになることを期待します。

おとう飯サポーター参加記念イベント「りんごの皮むき選手権」

「おとう飯サポーター」への参加を記念して、毎年11月に開催される、市民による市民のための食の祭典「Food(風土)グランプリ」(同時開催：農業まつり&農産物品評会)にて、「家事ダン集まれ!りんごの皮むき選手権」を開催しました。

参加者は、市長と、当日会場にいた来場者3名の「お父さん」!第一部ではりんごの皮むき、第二部ではうさぎりんごに挑戦しました。イベントの最後は、今回りんごを提供くださったたりんご農園の方から、りんご

に関するお話をしていただきました。

普段料理することがないお父さんたちのエプロン姿に、子どもたちはステージにくぎ付けです。

男性の家事推進と、地元の野菜を使った地産地消を目的としたイベントは、食の祭典を盛り上げる一大イベントとして盛況のうちに終了しました。



りんごの皮をむく藤野市長



うさぎりんごに挑戦しました

男女共同参画センター「ゆーあい」の取組

武蔵村山市男女共同参画センター「ゆーあい」では、昨年10月に、男性・子どもの生活自立支援として小学4年生～6年生のお子さんと父親を対象にした「パパ子でチャレンジおうち

ごはん」を開催しました。7組14名の参加があり、土鍋で作るさつま芋ご飯や出汁からとる味噌汁、鳥のから揚げなど全5品目を作りました。

調理から片付けまで全員で協力しながら作ることができ、どの班からも「美味しい!」と笑顔で食事をしている姿が印象的でした。参加者からは、「料理をするきっかけになりました」、「パパと一緒に家で料理を作ったことがなかったので楽しかった」、「今日の成果を家でママにみせたいです」などたくさんの感想をいただきました。1か月後のフォローアップアンケートでも「講座後に料理を作った」という回答が7組中6組からいただきました。



「パパ子でチャレンジおうちごはん」の様子

武蔵村山市は、今後も男女共同参画社会の実現に向けて、一層取り組んでいきます。

東北初の「おとう飯サポーター」が男性の家事・育児を推進!

福島市 総務部
男女共同参画センター

1. 東北初の「おとう飯」サポーター就任!

福島県の男性の1日当たりの家事・育児平均時間は70分、全国平均より10分以上も少なく、下から数えた方が早い状況です(平成28年度)。この現実を目の当たりにして、「女性も男性も活躍するためには、男性への啓発も大切だ」と新たなプロジェクトがスタート。市役所職員も市民も一緒に男性の家事・育児を推進しようと、まず昨年10月に福島市長が東北初の「おとう飯」サポーターに就任、同時に「イクボス」宣言を行いました。男性向け料理教室の開催やおとう飯写真のInstagram募集、市役所の全管理職へのイクボス研修など、全12のプロジェクトを推進しています。



木幡浩 福島市長

サポーター就任宣言時には市長が「福島のごちそう」と題した料理を披露、①福島市が一世帯あたりの購入額日本一の豚肉・納豆・卵を使用した「豚しゃぶの納豆ドレッシングのラジウム卵のせ」、②郷土料理いか人参を使用した「いか人参炊き込みご飯」、③福島を代表する果物の桃をのせた「市長自家製ヨーグルト」、④東京オリンピック・パラリンピック競技大会の福島市のホストタウン交流国スイスの料理「じゃがいものラクレットチーズのせ」の4品を作りました。



市長のおとう飯「福島のごちそう」

2. 市長も参加して「炒飯」と「油淋鶏」を作りました!

おとう飯サポーター就任から1ヶ月後、男性の家事・育児参画推進のために料理教室「料理deイクメン」を開催しました。老舗中華料理店のシェフの指導のもと、20代~50代の男性15名が集まり、市長と一緒に料理にチャレンジ。卵のふわっと感の出し方や味付けに苦労しながら、炒飯と油淋鶏が見事完成!全員で料理を堪能しました。「これからも料理にチャレンジしていきたい!」と笑顔で話す参加者の姿が、とても印象的でした。



「料理deイクメン」は大盛況!

3. Instagramで「おとう飯」写真を募集中!

男性の家事・育児参画のムーブメントをSNSでも広めて行こうと、昨年12月からInstagramでおとう飯の写真を募集しています。「撮影した写真にコメントを付けて投稿することで、多くの利用者と共有できる」というInstagramの特性を活かして、投稿していただいたおとう飯の写真を見たり参考にしたりすることで、料理への意欲を高めてもらいたいと始めました。

ハッシュタグは「福島市のおとう飯」を意味する「#fukuhan」。2月現在で50件の投稿があります。写真を見て作り方を学んだり、男性の料理が話題になったりと、おとう飯のネットワークが少しずつ広がっていると感じています。

今後もおとう飯を通じて男性の家事・育児参画を進め、男性も女性も輝きながら、安心して暮らしていける福島市のまちづくりの一助となるよう、取り組んでいきます。

下記QRコードからInstagramの詳細をご覧ください。ぜひご利用ください。

おとう飯インスタ募集中!



Special Interview



従業員のみんなが、きっと家で家族と一緒に晩御飯を食べているやろうなと想像するだけで、幸せな気持ちになる。

Nakamura Akemi

今回は、「1日100食限定！限られた時間だけ働いて、適度に稼いで早く帰る」働き方を実現し、日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」大賞に選ばれた中村朱美さんにお話を伺いました。

—「佰食屋」の名前のルーツをお聞かせいただけますか。—

開業前、最初に決めたのがお店の名前です。もともと私も夫もサラリーマンで営業や広報の仕事をしていましたので、自分たちが飲食店をやるなら、頑張りが自分たちに何かの形で反映されるような働き方を導入したいと考えていました。

インセンティブを飲食店に導入するには、食数を限定し、それをクリアすれば早く帰れて給料も上がるという仕組みにする、1日何食ということに従業員もお客さんも知る必要があったと考えました。「佰食屋」という名前にしたら、働く人もお客さんも100食限定というのがお店の名前からわかる。「佰食屋」の漢字も最初から決めていました。「百」だと、ただ100食を売るだけの店にしか聞こえない。私たちは、飲食店の働き方を変えたい、人を大切にする会社でありたいと思い、最初から「にんべん」、人を表す漢字をつけました。

—お店を開業してから今までの間は様々な御苦労があったのではないですか。—

実は佰食屋のメニューは、会社員の時に結婚した夫が作ってくれた晩御飯のメニューでした。夫が作るステーキ丼があまりにおいしくて、ほか

の人にも食べてほしいと心底思っていました。夫も、昔から料理が好きで、定年退職したらいつか自分の店を持ちたいと言っていました。

結婚後、子どもがすぐに欲しかったのですが、なかなか授かれなかったこともあり、夫を誘い、私の方が夫のお尻をたたいて開業に持っていきましたが、私の実の両親からは非常に反対され、開業するまで理解を得られませんでした。でも、私は夫の作るステーキ丼が本当に大好きで自信があったので、皆さんに知ってもらえれば絶対流行るという自信は最初からありました。経営面では、景気の動向や天候により牛肉や野菜も高騰したりしますので、どれくらいの原価率で、どういう仕入れ値で安定させるかというのは、今でもずっと試行錯誤し続けています。突然メニューの金額を上げるようなことになればお客さんも離れてしまうので、すごく悩んだときもありました。今年7期目で、ようやく安定して利益を出せる仕組みを理解できてきた感じでした。

今は牛ステーキ丼、すき焼き、そして肉寿司の3店舗をやっていますが、主婦の感覚、消費者として私が食べたい値段を付けています。千円を超えるとやはりランチに行きにくくなるので、そのくらいの中で先に値段を決めて、そこから材料を逆算していく形で考えました。

—「佰食屋」は残業がないとお聞きしたのですが。—

お店で働くスタッフは、今、全体で正社員13人とアルバイト17人が働いていて、勤務時間は一人一人が選べるようになっています。スタッフに

は、自分が選んだ勤務時間で帰ってもらうことを徹底してもらっています。おかげで、小さなお子様を保育園に預けているお母さんや介護が必要な親を抱えていらっしゃる方にも、みんなに働きやすいと言ってもらっています。

—中村さんがイメージする働きやすい職場というのはどのような職場とお考えですか。—

働きやすさには幾つかテーマがあると思います。そのひとつは、ガラス張りの環境であること。いざ勤め始めてみると、休憩時間が取れなかったり、残業が思った以上にあったり、新人は先輩より早く来いと言われたり、暗黙の了解みたいな、いわゆる錯誤みたいなことをなくしたい。働く仕組み、時間、休憩などは仕組み化してしまうことが絶対必要で、それが安心してストレスなく働けることにつながると思っています。

うちの店では、みんなに有休は全部取得してもらっていますが、みんながストレスなく使えるよう、私が関与しないルールにしています。店舗内でみんなに「私、この日有休を取ります」と宣言してもらって、なるべく他の人とかぶらないように調整さえしてくれれば、申請書を後で出すだけということにしています。また、できるだけ連休を取らせてあげたいので、シフトを作るときには、個人の希望はもちろん、それとは別に、シフトに愛情を込めてできるだけ毎月3連休を入れられるようにしています。

—仕事と家庭の両立についてどんな考えをお持ちですか。—

私は、家庭とかプライベートを豊かにするために仕事をするというよう



中村 朱美

minitts 代表取締役
「佰食屋」オーナー

なかむら・あけみ／
2007年、京都教育大学卒業後、京都市内のホテル・旅行・ブライダル専門学校に就職し、広報部に勤務。11年に結婚。12年7月に退職し、9月にminittsを設立。同年11月に京都市西院に国産牛ステーキ井専門店「佰食屋」を開業した。現在3店舗を経営。2児の母でもある。「1日100食、ランチ営業のみ」の営業方式で、従業員全員が残業なしで帰る働き方を実現。あえて売上を追求せずに短時間でも働き甲斐を持てる飲食店として、業界内外から注目を集めている。2018年11月30日日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」大賞受賞。

に、プライベート優先で仕事の仕組みを考えます。

私には、脳性麻痺の子どもがいて、毎日よりハビリをしなければならぬので、必ず夕方に私が家に帰らないといけない、なので、みんなにも夕方以降には働いてほしくない。自分が出来ないことは人にもやらせたくないし、自分はプライベートを大切にするためにこの仕事を作ったのだから、すべてプライベート優先で仕事の時間を決めています。皆さんには、そこら辺が女性らしいと言われるのですが、やはり男性の経営者はIPOを目指していたり、店舗数や年商などの数字やスケールを大事にされる方が多いですね。私はそういうのは全然興味がなく、働いている人の顔が生き生きするためにどうしたらいいのかだけをいつも考えています。売り上げが伸びても、人が疲弊したり、ノルマのために家に帰れない人が出るようなことはしたくないと思っています。

—ご家庭では、家事・育児について役割分担をされていますか。—

私たちは「得意なことは得意な方がする」というルールにしている、夫は料理が得意だから朝食や夕食、また、子供のお弁当や離乳食も含め、買い物から調理、片付け物、お皿洗い、冷蔵庫の管理、食事にかかわるもの全部を夫が一人でやっています。夫が夕飯を作れないときは外で夕御飯を買ってきます。私はそれ以外の家事、つまり、掃除、洗濯、幼稚園の準備、必要な消耗品の買い出しとかをやる。私は片づけや掃除がすごく好きで、それぞれが好きなことをやっていますし、それでうまく回ります。育児については半々です。

いつも家で言っているのが、家事も子育てもミッションであると。仕事はミッションだから役割分担してちゃんとグループでやっていきますよね。家事も一緒に、それぞれ担当責任者がいて、それぞれが遂行するのだけれど、たまにいないときは、カバーするか、代替を用意する、そういう感じにしています。ミッション化すると男性はできると思います。責任者と担当ポジション、あと、目標設定です。**—「佰食屋」を始めて、あらためてやって良かったと感じるのはどんなことですか。—**

やはり明るい時間に帰れるというのがいいですね。明るい時間に帰れると、子どもたちと一緒に晩御飯を食べられる、それは普通の会社では簡単なようで難しい。私たちは大体18時半に晩御飯を食べるのですが、絶対、毎日、家族が揃うようにしています。それは私の目指していた働き方でもあり、私のお店にかかわっている従業員全員が出来ているはず。自分だけでなく、一緒にやってくれているチームのみんなが今きっと家で晩御飯を食べているやろうなと想像するだけで幸せな気持ちになります。今は30人ですが、その人数がもっと増えたら、きっと私はもっと幸せになるやろうなと思います。**—何かを見つけて活躍したいと思っている女性たちに向けてメッセージをお願いします。—**

世の中の女性は、思ったことを口にするのが難しい方、あるいは抱え込んでしまう方がすごく多いと思うのです。例えば、家事がしんどいとか、子育てが大変と思っても、「手伝って」と言えなかったり、会社でも女性は

責任感が強くて、期待されていたら一生懸命頑張ってしまう、最終的にパンクしてしまうということがあります。私は、いつもいろんなところで女性にメッセージを伝えるとき、「しんどいから助けて」と言っているんですけど、「助けて」というメッセージを外に発信することで、想像以上にみんな助けてくれるのです。だからしんどい時には、「ヘルプ」という言葉をぜひ一回言ってみよう。日本の女性は十分頑張っている。だから、これ以上頑張らなくていいいつも思っています。**—本日は大変いいお話をいただきまして、ありがとうございました。—**



国産牛ステーキ丼



国産牛すき焼き定食



国産牛肉寿司定食



スポーツ分野における 男女共同参画の推進

スポーツ庁

第4次男女共同参画基本計画（平成27年12月25日決定）では、スポーツ分野においても、生涯を見通した健康な体づくりを推進するため、女性のスポーツ参加を推進するなどの環境整備を行うことが定められています。

今回は、スポーツ分野における男女共同参画の推進に係る施策の基本的な方向性や具体的な取組をご紹介します。

1. 施策の基本的な方向性

生涯にわたる女性の健康を確保するためには、運動習慣の有無が密接に関連することから、生涯を通じた健康づくりのための身体活動を推進するとともに、男性に比べ女性の運動習慣者の割合が低いことなどの課題に鑑み、女性のスポーツ参加を促進するための環境整備を行います。その際、男女の健康状況や運動習慣が異なることを踏まえた取組を進めることができるよう、スポーツ指導者においても、女性の参画を進める必要があります。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も見据え、女性アスリート特有の課題に対応した競技環境の改善を推進します。

2. 具体的な取組

(1) 女性のスポーツ参加促進

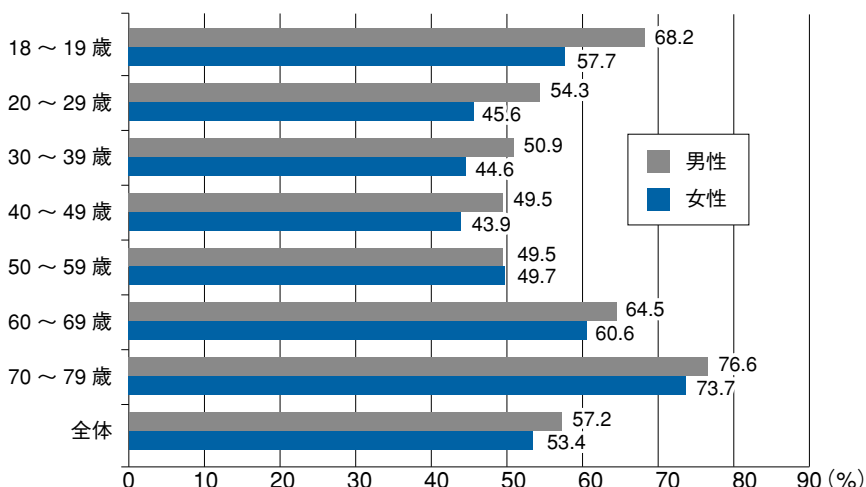
平成30年度にスポーツ庁が全国18歳～79歳の男女20,000人を対象に実施した調査では、女性は男性と比較してスポーツ実施率が低い傾向があります。年代別に見るとその差は年代が低くなるほど開きが

大きくなり、特に10代（18歳、19歳）では、男性67.5%に対して女性は57.7%と全世代の中で最も差が大きくなっています。

平成30年9月、スポーツ庁では、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現を目的として、「スポーツ実施率向上のための行動計画」を策定し、この中では広く国民全体に向けた取組に加え、「女性」を主な取組対象の一つとして位置付けています。

具体的な取組としては、妊娠・出産・子育て期など激しい運動ができないときや時間や場所に制限がある中でも気軽にスポーツができるプログラムの開発に取り組んでいます。その他、女子生徒のスポーツ実施の二極化や、食べない・運動しないことによる痩せすぎ、身体機能の低下も懸念されていることから、女性をはじめ国民及び幅広い関係者に対してメッセージを発信する「女性のスポーツ促進キャンペーン（仮称）」等を実施することとしています。

年代別・性別の週1回以上スポーツ実施率（10代～70代）



(2) 女性アスリートのサポート

女性アスリートについては、身体的な理由等から妊娠・出産期に第一線で競技を続けることが難しく、また、育児と競技生活との両立にも課題が多いことから、妊娠等を機に現役を引退するケースが多くみられます。しかし、平成27年度にスポーツ庁の委託で独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）が行った調査では、女性アスリート282人のうち3割超が出産後の現役続行を望むと回答するなど、日本でも、近年育児をしながら競技生活を続けたいと考える女性アスリートが増えています。

スポーツ庁では、JSCに委託し、平成25年度から出産を経験したアスリートの事例調査やニーズ調査を行い、得られた知見を基に、平成27年度から、産前・産後のアスリートへのトレーニングサポートを実施しています。

また、JSCでは、平成24年度から、ナショナルトレーニングセンターでトレーニングをする女性アスリートやコーチのために同センター内に託児所を設置しています。これに加え、スポーツ庁の委託事業として、長期遠征や休日練習等、普段の保育所等で対応できない事情が生じた際に、一時保育やベビーシッター等の経費の一部を支援する取組を実施しています。

さらに、これから出産を望むアスリートや産後復帰を目指すアスリートのネットワークづくり・情報共有を支援しており、平成26年度にママアスリート・ネットワーク（MAN）が立ち上げられました。MANは、年1回程度のワークショップを開催し、出産後も競技を続ける現役アスリートの

ロールモデルの紹介や情報交換を行っています。

(3) 女性スポーツ指導者の活動促進

女性アスリートの育成・支援に当たり、指導者の育成も重要です。スポーツ庁では、平成30年度は、出産・育児等、女性特有のライフイベントにより女性コーチ等のキャリアが断絶してしまうことを踏まえ、女性スポーツ指導者等が活躍しやすくなるよう研修プログラムを開発しました。

(4) スポーツ団体における女性役員の育成

平成29年5月、「スポーツ団体の経営力強化に関する会合（女性役員登用促進等）」において、スポーツ庁と公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）等のスポーツ団体との間で、2020年までにスポーツ団体の女性役員の割合を30%に引き上げるとする「女性の活躍拡大に関する当面の取組方針」が了承されました。この取組方針に基づき、スポーツ庁では、スポーツ団体の女性役員育成のため研修プログラムの開発や、女性役員同士のネットワーク構築の支援等の取組を進めています。また、平成27年度からは、国際競技連盟等における日本人役員のポスト獲得支援も実施しています。事業開始当初、日本人役員数は17人でしたが、4年間の取組の結果31人に増え、第2期スポーツ基本計画に掲げる平成33年度（2021年度）までの目標である35人に近づいています。この31人の日本人役員のうち女性は4人と決して多いわけではありませんが、スポーツ界における女性の国際的な活躍は今後大いに期待できる領域であると考えます。



2018年度 国・地方連携会議ネットワークを 活用した男女共同参画推進事業について

内閣府男女共同参画局総務課

内閣府男女共同参画局では、男女共同参画推進連携会議、同会議構成団体、地域版男女共同参画推進連携会議等とともに、男女共同参画に関する理解を深めるために、全国各地でシンポジウム等を開催しています。2018年度は7件のシンポジウムを開催しました。以下、開催内容についてご報告させていただきます。

①来たれ、リーガル女子!～女性の弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう!～ (日本弁護士連合会等との共催)

本シンポジウムは、女子中高生が法曹に興味を持ち、進路の一つとして選択できるように、女性法律家の仕事内容や魅力を紹介し、理解を深めることを目的に開催されました。

参加した女子生徒からは、「弁護士以外の法曹の仕事も知ることができて良かった」、「プライベートな話も聞くことができ、弁護士という仕事を身近に感じられた」。保護者からは、「女性ならではの実情が聞け、娘を持つ保護者として有意義な会だった」、「女性のキャリアアップの道筋がわかり、良かった」などの声が聞かれました。

②女性の活躍!長崎から、世界へ～フィフティ・フィフティをめざして～みんなが元気になる、街を 世界を 創る (特定非営利活動法人日本BPW連合会等との共催)

長崎が抱える課題と強みを重点的に取り上げながら、地方においても2030年までに男女の完全な平等を実現するため、どのように取り組んでいくべきかをテーマにシンポジウムが行われました。

当日のグループセッションの結果発表では「450年前から世界と繋がり、知識・技術・文化・人を受け入れ育み国内外に貢献してきた長崎が先頭に立って、多様性の尊重とアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の排除を進める。そしてすべての分野で男女の格差なく(フィフティ・フィフティで)活躍できる社会、男女を問わず一人一人が自分らしくいられる社会を目指す。そのためには、次世代へのつなぎを重視したSDGs(持続可能な開発目標)の視点をもって、より多くの人が幸せを感じることができる世界を実現したい。」といった意見がまとまりました。

③自分を受け入れ自分を認め、一步踏み出す「キキ」の魅力と「自己肯定感」 (特定非営利活動法人国連ウイメン日本協会等との共催)

日本の子供は自己肯定感が低く、特に女性は自己肯定感が低い傾向があると指摘されています。自己肯定感が高い「魔女の宅急便」のキキをきっかけに私たちが自分を受け入れ認め、一步踏み出すためには何が必要なのかをテーマにシンポジウムが行われました。

参加者からは、「魔女の宅急便の作者が『自分は肯定感が高くない』と話していて意外だったが、勇気づけられた」、「グローバルな話と自己肯定感に関する具体的な話があり、バランスが良く面白く聞いた」などの声も聞かれました。

④おとう飯シンポジウム「生活を楽しむ“お手軽”家事のすすめ」 (静岡市女性活躍推進会議との共催)



「来たれ、リーガル女子!～女性の弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう!～」当日の様子



「女性の活躍!長崎から、世界へ～フィフティ・フィフティをめざして～みんなが元気になる、街を 世界を 創る」当日の様子



「自分を受け入れ自分を認め、一步踏み出す「キキ」の魅力と「自己肯定感」」当日の様子



「おとう飯シンポジウム『生活を楽しむ“お手軽”家事のすすめ』」当日の様子



「若年女性・少女をいかに地域で支えるか『生きづらさからの脱出』」当日の様子



「関西女性活躍推進シンポジウム『すべての女性が活躍できる関西へ 私たちができること』」当日の様子



「企業×女性起業家のマッチングイベントビジネスにも運命の赤い糸ってあるんですーWEPs(女性のエンパワメント原則)の実現に向けてー」当日の様子

女性も男性も誰もが気軽に家事へ取り組み、一人一人が仕事でも生活でも充実できる、ワーク・ライフ・バランスをテーマにシンポジウムが行われました。

参加者からは、「男性が家庭に目を向けると社会が変わると思った」、「家事にかかる手間や時間を省いた上でいかにワーク・ライフ・バランスを充実させるかが大切だと感じた」、「古い価値観を捨て、仕事・家事的なかでやらなくてもよいことを見直していくことが必要だと感じた」などの声が聞かれました。

⑤若年女性・少女をいかに地域で支えるか『生きづらさからの脱出』 (京都府更生保護女性連盟との共催)

現代社会には、社会が抱える様々な問題に苦しむ少女や若い女性たちがいます。今回のシンポジウムでは、さまざまな困難を抱えた少女や若い女性たちを孤立させないために、地域で何ができるのかをテーマに行われました。

参加者からは、「生きづらさを感じている人たちを包むいろいろな方向からの話を聞くことができ、今後に生かしたいと思った。」「自分の若いころの生きづらさと今の若い人たちの生きづらさは大きな違いがあると思った。」などの声が聞かれました。

⑥関西女性活躍推進シンポジウム「すべての女性が活躍できる関西へ 私たちができること」 (ひょうご女性の活躍推進会議等との共催)

「働きたい女性が日本で最も活躍できる

地域・関西の早期実現」の達成のため、関西の現状と課題、解決方策について考えることを目的に講演等が行われました。

参加者からは「固い雰囲気ではなく、とてもわかりやすく共感でき、学べる会だった。」「当事者の女性の視点だけでなく、企業、男性側の視点や課題を明らかにされた点が良かった」「本日聞いたヒントを少しずつ積み上げて変化につながれば、とモチベーションが上がりました。」などの声が聞かれました。

⑦企業×女性起業家のマッチングイベントビジネスにも運命の赤い糸ってあるんですーWEPs(女性のエンパワメント原則)の実現に向けてー (一般社団法人東京ニュービジネス協議会等との共催)

企業と女性起業家の取引機会を提供する女性のエンパワメント促進事業を実施するとともに、様々な女性起業家の活躍を全国に発信することで、都内だけでなく地域の女性の社会活躍を促しました。

参加者からは、「女性起業家がどのように活躍されているのか実例を知ることができ、視野が広がった」などの声がありました。また本イベントを通じ参加企業から女性起業家との取引について「次に進みたい」という前向きなご意見をいただいたものが約4割となり、実りある会となりました。

2019年度も同様にシンポジウム等を開催予定です。

ジェンダー主流化の20年(11)～グローバルな枠組みの基本原則に～

(特活) Gender Action Platform 理事 大崎 麻子

この連載もいよいよ最終回。日本のトップリーダーが自ら署名し、コミットした3つの国際枠組みを考察しましょう。G7サミット、G20サミット、そして、持続可能な開発目標(SDGs)です。

2018年6月のG7サミットでは、議長国カナダのトルドー首相が主導して設置したジェンダー平等アドバイザリー評議会からの提言を踏まえ、首脳宣言の「ジェンダー主流化」が実現しました。ジェンダーと女性に関する独立項目を掲げただけではなく、すべての項目、「成長への投資」「仕事の未来」「平和と安全保障」「気候変動、海洋、クリーン・エネルギー」に、女性・ジェンダーに関する文言を組み込んだのです。例えば「仕事の未来」の項目には、「職場内外での暴力、差別及びハラスメントの撲滅を含め、女性のリーダーシップ及び労働市場への全側面への平等な参加の機会への障壁を取り除く必要性を認識する」、また、「平和と安全保障」の項目には「女性・平和・安全保障(WPS)のアジェンダの実施を強化することを決意する。テロを予防し撲滅するための女性の参加及び視点を含むジェンダーに配慮した措置は、効果的で持続可能な結果、性的及びジェンダーに基づく暴力からの保護ならびにその他の人権侵害・違反の抑制のために不可欠である」と明記されました。

12月1日にアルゼンチンのブエノスアイレスで採択されたG20サミットの首脳宣言は、冒頭で「仕事の未来、開発のためのインフラ、持続可能な食料の未来、そしてG20のアジェンダ全体としてジェンダーを主流化する戦略である」と宣言しました。「ジェンダー平等は、経済成長及び公正で持続可能な発展に極めて重要である」とし、「女性と女児に対するあらゆる形態の差別及びジェンダーに基づく暴力を終わ

らせること」「質が高く安価なケア・インフラや育児休暇へのアクセス等を通じ、全ての人々にとっての労働環境を改善するため、民間部門と共に取り組むこと」「性別による賃金格差を削減すること等により、女性の経済的なエンパワーメントを促進すること」など、具体的な施策へのコミットメントを表明しています。同年10月にW20¹がマクリ大統領に手渡した提言の多くが首脳宣言に盛り込まれたのです。今年のG20議長国は日本。W20の提言書は3月23日に安倍総理に手渡されますが、6月のサミットが採択する首脳宣言にどれだけ反映されるか、世界の女性が注目しています。

最後にSDGsです。日本でも民間企業、自治体、メディアで注目度が高まって来ましたが、しかし、SDGsのどの目標の取組みにおいても「ジェンダー視点の主流化が必要である」という実施原則の周知は進んでいません。総理を本部長とするSDGs国内推進本部が平成28年12月に発表した「SDGs実施方針」には、「実施のための主要原則」として、「ジェンダー平等の実現及びジェンダー視点の主流化は、分野横断的価値としてSDGsの全てのゴールの実現に不可欠なものであり、あらゆる取組において常にそれらの視点を確保し施策に反映させることが必要である」「ジェンダー統計の充実が極めて重要であり、SDGsの実施において可能な限り男女別データを把握するよう努める」と明記されています。とても画期的な方針です。SDGsに関連した啓発・教育活動、企業や自治体による国内外での取組みに「ジェンダー主流化」のアプローチが浸透し、実行に移され、誰一人取り残さない社会が実現することを願います。



W20 ARGENTINA2018
W20アルゼンチンのスサナ・バルボ議長からG20議長国アルゼンチンのマクリ大統領へ提言書を手交(2018年10月)
出典：https://w20japan.org/news/news_05.html



G7シャルルボワサミット
首脳宣言の「ジェンダー主流化」が実現。ジェンダーと女性に関する独立項目を掲げるとともに、すべての項目に女性・ジェンダーに関する文言を組み込んだ(写真提供：内閣広報室)



G20ブエノスアイレスサミット
首脳宣言では、冒頭に「G20のアジェンダ全体としてジェンダーを主流化する戦略である」と宣言された(写真提供：内閣府広報室)



おおさき・あさこ／(特活) Gender Action Platform 理事、関西学院大学客員教授
コロンビア大学国際公共大学院で国際関係修士号を取得後、UNDP(国連開発計画)開発政策局に入局。UNDPの活動領域である貧困削減、民主的ガバナンス、紛争・災害復興等におけるジェンダー主流化政策の立案、制度及び能力構築に従事した。現在は、フリーの国際協力・ジェンダー専門家として、国内外で幅広く活動中。「エンパワーメント 働くミレニアル女子が身につけたい力」(経済界)。

1 G20に向けて、女性(Women)に関する政策提言を行う組織体。

地域における女性の活躍推進② 女性の力で地域の課題を解決する 内閣府男女共同参画局総務課



県内映画館における完成発表会の様子
動画DVD「もしかして私 リケジョかも！」
(滋賀県)



教材表紙(上:小学生版、下:中学生版)
(大阪府豊中市)

今回は、平成29年度・平成28年度補正「地域女性活躍推進交付金」から2事業を紹介します。

○もしかして私リケジョかも！ (滋賀県)

滋賀県では、女子中学生に対し、特に志望が少ない分野(理系等)の学科・職業について紹介を行うことにより、多様な進路を考えてもらうきっかけとすることを目的として、理系女子高校生による取材を元にした動画教材を作成しました。

ストーリーは、理系科目が好きな女子中学生リカコが、「女子で理系が好きって変わっているのかな…」と悩んでいるところへ、県内の高校に通う女子高校生4人が『リケジョ探検隊』として登場、「全然変じゃないよ。これから、理系の分野で活躍している先輩女性にインタビューに行こう」とリカコを誘います。リカコと高校生達は、理系の分野で活躍する先輩女性の姿を通して、自分の将来には多様な可能性があることを知り、性別に関わらず、好きなこと・興味のある分野に進んでいくことを決意するというものです。

昨年度、映画館を借りて、しがの女性活躍応援フォーラムを開催し、この動画の発表を行ったところ、非常に好評でした。また、動画作成時にアドバイザーをお願いした滋賀県立大学教授に大学の女性史・ジェンダー論の講義で活用いただきました。

今年度も、しがの女性活躍☆ステップアップ・プロジェクトとして、女性の参画が少ない職域に対して、「女性には向いていない」といった先入観の払拭やイメージアップを図るための取り組みを進めることとしております。

○小・中学生からの女性活躍推進事業(大阪府豊中市)

豊中市では、固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合が大阪府や全国と比べて高く、第2次豊中市男女共同参画計画改定版において、「若年層に対する男女平等教育のより一層の推進」が重点施策の一つに掲げられております。

性別にかかわらず、それぞれの個性を生かし、尊重しあいながら将来について考える機会を教育の場の中で提供するため、小学4～6年生、中学1～3年生をそれぞれ対象とした男女共同参画・キャリア教育等に関する副教材を作成しました。

この副教材は、作成の過程で小・中学校の教員の意見を取り入れ、模擬授業を行いながら企画検討を行い、児童・生徒の反応を内容に反映させ、身近な家庭における役割分担を通して性別役割分担意識について学ぶきっかけとしたほか、性別にかかわらず自分らしさを見つめなおし、将来像を膨らませる内容となっています。

さらに中学生版においては、地域の身近なロールモデルとして、市内で活躍する女性起業家や育児参加休暇を取得した男性消防士へのインタビューを掲載し、自らのキャリア形成や働き方を考えることができる内容としています。

この副教材は、2018年～2022年の5年間、豊中市の小学4年生、中学1年生に配布し、3年間にわたって活用することとしています。

○交付金事業による取り組みの詳細はHPをご覧ください。

http://www.gender.go.jp/policy/chihou_renkei/kofukin/h29/jisshi_h29.html

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者の取組

平成26年に「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言が公表され、現在200名を超える男性リーダーが本宣言に賛同しています。今月は4名の賛同者の取組を紹介します。

■「女性が元気に働き続けられる愛知」をめざして

「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」の実現には、さらなる女性の活躍が欠かせません。私も企業の皆様の取組を後押ししたいと考え、2018年4月には、さらなる女性の活躍促進に向けた知事メッセージを発信しました。

また、「隗より始めよ」の観点から、愛知県庁内では、「女性職員の活躍促進に向けた取組指針」を策定し、主に二つの観点で取組を進めています。

一つ目は「女性職員の職域拡大と登用、キャリア支援」です。管理職に占める女性の割合を2020年度までに10%とする目標を掲げ、本庁への配置、主査以上の役職者や管理職への登用を積極的に進めて、マネジメント力や政策形成能力に優れた女性職員の育成を図っています。

さらに、管理職員の意識改革のための

セミナー、仕事と子育ての両立のための子育て応援プログラムなど、女性が働きやすい組織風土づくりも進めています。この結果、2013年度に6.67%であった管理職に占める女性の割合が2018年度には9.99%と、目標達成まであとわずかとなりました。

二つ目は「ワーク・ライフ・バランスの推進」です。管理職員が先頭に立ち、時間外勤務の縮減や休暇の取得促進などに取り組んでいます。この他、男性職員が育児に積極的に参加できるようイクメンサポートの推進、サテライトオフィスの開設、テレワークの導入に向けた検討など、女性職員に限らず、育児や介護をしながら活躍できる環境の整備に力を注いでいます。

今後とも、「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現をめざして、積極的に取組を進めてまいります。



大村 秀章
愛知県知事



子ども同伴で参加できる「育児支援・キャリアガイダンス」



育児休業を取得した男性職員の体験談

■多様な人材が安心して働き、イキイキとチャレンジできる会社へ

TOTOグループは、年齢や性のあり方、国籍など、多様な人材の個性を尊重し、そこから生まれる新しい発想によって、豊かで快適な生活文化を創造していきたいと考えています。中でも、女性の活躍推進については、2005年に社長直轄の「きらめき推進室」を発足し、女性社員の能力発揮や意識調査など、女性のキャリア登用を積極的に推進してきました。2010年度からは「ダイバーシティ推進グループ」と改称し、さまざまな取組を進めています。

例えば、女性社員の育成プログラムは、本人とその上司を対象としたプログラム構成とし、上司に対する意識啓発を併せて推進しています。上司の関与により、研修によるスキル取得と、業務上の役割付与が並行実施でき、効果的なスキル向上の機会となっています。

また、男性社員に対しては、働く女性を支える為の意識啓発を目的に、積極的な家事・育児参画を推進しています。特に、男性の育児休業や、育児参画のための有給休暇取得については、社内ダイバーシティサイトにおいて、関連制度やロールモデルの紹介等を実施。積極的な休暇取得と、意識醸成を進めています。

さらに、すべての社員が、仕事とライフイベントとのバランスをとりながら、キャリアを継続することができるよう、両立支援を目的とした様々な制度導入に取り組み、2018年4月には、育児・介護事由を対象とした「在宅勤務制度」を導入しました。

また、グループ内における風土醸成、意識啓発を目的に、ダイバーシティ推進に関するトップメッセージ発信も、定期的に行っています。



喜多村 円
TOTO株式会社
代表取締役 社長執行役員



部門長を対象とした社長講話



女性社員育成プログラム（上司との合同セッション）



中村 太郎
グリーンライフ産業株式会社
代表取締役



男女性差なく活躍できる風土があります



工事現場で職人さんに確認をする女性社員

■「好きで選んだ仕事」だから働き続けるために応援し支え合う社内風土が誇りです

造園業は男性中心の職場ですが、私たちグリーンライフ産業は2000年にエンドユーザー向けのショップ事業を始動し、それが男性中心の職場から変わる転機となりました。子どもが安心して遊べる庭、庭を第2のリビングとしての活用など、ユーザーのニーズを汲み取るには同じ目線で話せる女性の力が必要です。そこで、女性プランナーを増員し、現在では女性社員の数が半数を超えています。

評価制度には実力主義を採用し、入社3年目で店長に抜擢された女性社員もいます。17店舗中8店舗で女性が店長を務め、女性の管理職比率は44%。資格取得や経営幹部訓練基礎講座の受講などをサポートし、男女の性差なくキャリアアップを目指せる育成制度を整えています。

一方で、女性が働き続けるための社内制度を拡充しており、出産を経て職場復帰し、時間を短縮した75%勤務で働く子育て社員もいます。店舗への子連れ出勤も容認しており、例えば母親の接客中は周りの社員が子どもを見守るなど支え合いもあります。このように、それぞれの働き方を尊重し、誰かにしわ寄せがいかないこと、お互いを気持ちよく思いやり、応援できる社内風土が醸成されていることは私たちの誇りです。

弊社の社員は男女を問わず、庭づくりやガーデニングの仕事に夢や憧れをもってこの道を選んでくれました。だからこそ仕事でも輝き続け、社会との関わりを持ち続けてほしい。その後押しができるよう、今後もまい進して参ります。



山下 良則
株式会社リコー
代表取締役社長執行役員・CEO



働き方変革フォーラムでの外部有識者と担当役員によるトークセッション (Skypeでも配信)



託児付き育児休業後の復帰支援セミナーには男性の参加者も

■一人ひとりがイキイキと働く社会を創る

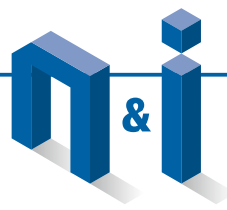
リコーは、人々の“はたらく”をよりスマートにするために、価値創造を続けてきました。「人を想う」を起点に「はたらく」を変革する。それが創業以来「三愛精神」のリコーが大切にしてきた原点であり使命です。それは社員に対しても同様です。リコーでは法施行前から育児に伴う休業や短時間勤務制度を導入するなど、女性も働きやすい環境を整えてきました。現在は、一人ひとりがやりがいを持って、個人およびチームとして最大のパフォーマンスを発揮し、新たな価値を生み出し続けることができる働き方の実現を目指し、取組を進めています。

リコーの提供する働き方変革で時間と場所にとらわれず自分らしい働き方を選べる社会に変え、一人ひとりにあった柔軟な働き方を実現することで、それぞれが持つ能力を十分発揮し、もっとイキイキ

と働いて欲しい。リコーでは社員の半数近くがリモートワークを活用するなど、柔軟な働き方が浸透してきました。

2017年の社長就任以来、私は年度初めの経営戦略説明会において、女性管理職比率に注視し、結果と今後の取組に関する考えを伝えてきました。今後はさらに一歩踏み込み、各役員からも女性活躍をはじめとした多様な人材を活かすための宣言をしてもらうことにしています。

また、定期的開催している働き方変革フォーラムには社外の有識者をお招きし、社員と一緒に新たな気づきを頂いています。私もそこで「孫が出来たら育児休暇を取得する」と宣言しました。実現するよう私自身も働き方を変えていきます。ダイバーシティ&インクルージョンはイノベーションの源泉です。これからも価値創造を続けるために、経営戦略として取り組んでまいります。



[News & Information]

1 Info 国立女性教育会館 (NWEC)

女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』開催

NWECでは、女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』を開催します。

ベアテ・シロタ・ゴードンさん(1923～2012年)はウィーンで生まれ、著名なピアニストである父レオ・シロタ氏の東京藝術大学教授赴任に伴い、1929年に家族で来日しました。日本のアメリカンスクールを卒業後、アメリカ西部の伝統ある女子大ミルズ・カレッジに学びます。1945～1946年の2年間、再び日本に滞在し、GHQ民政局員として日本国憲法草案作成に携わり、草案第14条「法の下(もと)の平等」、第24条「両性の平等の原則」の条文作成に寄与しました。1990年頃からは、日本各地で自身が関わった日本国憲法についての講演活動を活発に行いました。

今回はベアテさんの幼少期から晩年までの各時代の写真、日本国憲法草案作成に関わる資料、日本での講演のチラシ・パンフレットなどを展示します。みなさまのご来場をお待ちしています。

期 間 2019年4月26日(金)～2019年9月30日(月)
9時～19時(休館日をのぞく)

会 場 国立女性教育会館女性アーカイブセンター展示室
(本館1階)(埼玉県比企郡嵐山町)

料 金 無料

2 Info 国立女性教育会館 (NWEC)

「地域における男女共同参画推進リーダー研修<女性関連施設・地方自治体・団体>」開催予告

NWECでは、「男女共同参画推進に向けた取組とSDGs」(仮題)をテーマに、全国の女性関連施設・地方自治体・団体リーダー等を対象とした研修を行い、地域における男女共同参画の現状と課題を把握し、課題解決に向けた具体的な取組のあり方を探ります。

本研修は、国の施策の最新情報や持続可能な開発目標(SDGs)について理解を深めるとともに、参加者同士によるネットワークづくりを通じて、知識・企画力・実践力を養う高度で専門的な研修です。

内容は、基調講演、情報提供、講義、分科会(テーマ別・コース別)、全体会を予定しています。

日 時 2019年5月22日(水)～24日(金)【2泊3日】

会 場 国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町)

対 象 女性関連施設・地方自治体・団体リーダー等130名

申 込 2019年4月1日(月)～4月25日(木)先着順

参加費 無料(宿泊費1泊1,200円、食事代、情報交換会費(希望者のみ)は別途)

詳細、申込は、https://www.nwec.jp/event/training/g_leader2019.htmlをご覧ください。

3 Info 国立女性教育会館 (NWEC)

『NWEC実践研究』第9号刊行

第9号は「ジェンダーに基づく暴力」をテーマに取り上げ、国内のこれまでの動向や国際的な広がりや、セクシュアル・ハラスメントを論じた論文、暴力の事例や暴力防止に向けた取組と、支援者のための研修など実践の展開を掲載。

その他、会館が実施している主催事業の報告、平成30年6月に10周年を迎えた女性アーカイブセンターの紹介も併せて掲載しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://www.nwec.jp/about/publish/journal.html>

4 News 警察庁

「子供の性被害防止セミナー」の開催



児童ポルノの製造や児童買春をはじめとする子供の性被害は、児童の心身に有害な影響を及ぼし、かつ、その人権を著しく侵害する極めて悪質

な行為であり、絶対に許されるものではありません。

警察庁においては、関係機関・団体等が互いの情報・知見を共有し合うことにより、更なる子供の性被害防止対策を推進するため、平成30年12月11日(火)に標題のセミナーを開催し、関係省庁、自治体、教育・医療関係団体、国際機関等から約150人の出席がありました。

セミナーでは、SNS事業者による取組や子供に対する暴力撤廃をめぐる国際的な情勢、警察における取組等が発表されたほか、高校生による演劇(同世代の子供達に被害防止を訴えるため、高校生が話し合っシナリオを考えたもの)が上演されました。詳しくはこちらを御覧ください。

(日本語版) https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no_cp/newsrelease/seminer_2018_03.pdf

(英語版) https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no_cp/newsrelease/news_dec11_03_2018.pdf

男女共同参画センターだより

News From Center

北海道立女性プラザ

北海道立女性プラザは、道内における男女平等参画を促進するための拠点施設として、平成3年11月に道民活動センタービルの6階に開設されました。

プラザには情報提供フロア、交流フロア、北海道女性の活躍支援センター、打合せ室、制作室などがあり、男女平等参画に関する情報の収集・提供をはじめ、講演会や講座の開催、女性が抱える様々な問題を解決するための相談室などの運営のほか、市町村が開催する講演会などの開催支援や女性のエンパワーメント（自己決定）に資することを目的とした起業、子育て等をテーマとする自主的な交流・文化活動の開催支援事業などを行っています。

近時、女性の活躍支援や働き方改革などが叫ばれていますが、これらの政策も根底においては男女平等参画社会の形成に繋る課題と認識しており、男性も女性も誰もがその個性と能力を十分に発揮できる社会の形成は、古くて新しい課題かと思えます。

そのような認識の下、DVや離婚、相続など女性の抱える問題に法律面から対応するため、13名の女性弁護士による「女性

のための相談室」を開催しているほか、結婚や育児、仕事、介護等の女性の変化するライフステージに応じた様々な相談や疑問などについて、総合相談支援員や専門家相談員、メンターなどのスタッフが課題の解決に向けサポートする「北海道女性の活躍支援センター」を運営しています。

また、現代の「超高齢社会」においては、介護者の3人に一人は親や妻の介護を担う男性と言われており、みんなで介護を支えなければならない社会であることから、介護保険制度の仕組み等について学ぶ講演会をはじめ、介護技術について実際に体験する講習会のほか、男性介護者が相互に交流して情報交換を図る交流会などを内容とする「ケアメン講座」を毎年度、開催しているところです。

介護離職を持ち出すまでもなく、現代は女性も男性も働きづらい、生活しづらい時代になっています。

男性、女性といった性別を超えて、個人の働き方や生き方の選択肢が不当に狭められたり、奪われることのない社会を目指して、今後とも事業展開を図っていきたくと考えています。

編集後記

本号は元号「平成」最後の発行号となります。平成20年5月の創刊号発行以来約11年、今号で121号を数えました。

今月号のスペシャル・インタビューは、日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」大賞を受賞した京都市西院にある国産牛ステーキ井専門店「佰食屋」取材をさせていただきました。私も、実際に食させていただきましたが、大変リーズナブルな値段にもかかわらず、本当においしく、まさに最後飯にふさわしい絶品料理です。皆さんも、是非、一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

さて、次号5月号は新たな年号になって初号となりますが、表紙イラストも新デザインとなり、色使いやページ数なども変わります。お楽しみに。
(編集デスク KH)

【3・4月号表紙】


料理を作るだけではなく、「おとう飯」によって愛情たっぷりの家族団らんが生まれることを表現しています。

デザイン／

株式会社スコープ

Kyodo-Sankaku

月刊総合情報誌
「共同参画」3・4月号

 <http://www.gender.go.jp>

 <https://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>

第121号 ● 2019年3月10日発行
編集・発行 ● 内閣府
〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1
内閣府男女共同参画局総務課
電話 ● 03-5253-2111 (代)
印刷 ● 株式会社アイネット

日本でも

人身取引は身近な犯罪です!

2017年 日本国内で認知された人身取引事犯被害者数

■日本人 ■外国人

※「人身取引対策に関する取組について(年次報告)」
(平成30年5月18日人身取引対策推進会議決定)に基づき作成

約60%が日本人!



気づいてください!



『人身取引』は
あなたのすぐ近くに潜んでいる
可能性があります。

ネットでモデル募集



モデル募集を装ったサイトを作成し、応募者にアダルトビデオの撮影に関する契約書への署名を強要して、撮影に応じさせ、その動画を販売。

日本での儲け話



「日本で働けば稼げるよ。」などの甘い言葉で、外国人女性らを来日させ、勤め先としてスナック店をあっせん。売春を強制し、その代金を搾取。

脅して労働搾取



少年を住み込みで働かせ、遅刻や失敗を理由に賃金を搾取。「辞めたい」と訴えた少年を暴行・脅迫し、強制的に労働させた。

- 人身取引とは、売春や強制労働をさせるなどの搾取の目的で、暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの手段を用いて、人を移動したり、隠したり、受け取ったりする行為であり、被害者に対して深刻な精神的・肉体的苦痛をもたらします。
- 買春は人間の尊厳を傷つけ、人権を軽視する行為であり、決して許されません。
- 人身取引と児童買春は、重大な犯罪であり、国の内外を問わず処罰の対象です。

被害者らしい人を見かけたり、助けを求められたら、最寄りの警察署や入国管理局に連絡してください。

匿名通報ダイヤル 0120-924-839

政府広報オンライン 暮らしに役立つ情報

匿名 通報

検索

<https://www.tokumei24.jp/report/>



政府広報 人身取引

検索

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201111/3.html>



HELP!
あなただけ
SakiJoshi
PELAWAN BANTUAN
財源確保
5241113
Isocoro!
CHACOTE!
救救救!

このリーフレットを示した人は、人身取引の被害に遭っている可能性があります。警察等への連絡をお願いします。

リーフレット
(電子版)



内閣官房 内閣府 警察庁 法務省 外務省 文部科学省 厚生労働省 農林水産省 経済産業省 国土交通省 海上保安庁